

理工系学部の学びを

体験してみよう！

日程 2020年 11月7日(土)・11月14日(土)・11月21日(土)

会場 関西大学千里山キャンパス
※原則、全3回出席できる方が対象です。

対象 高校在學生
(既に卒業された方、大学進学を希望する方も可)

定員 32名

スケジュール・概要
(実習のみ)

参加費
無料

「理工系学部の学び」と聞くと、難しいイメージがあるかもしれませんが、私たちの身の回りは理工系の技術で成り立っています。関西大学環境都市工学部・化学生命工学部の学びをとおり、理工系の楽しさを実感してください。

11月7日(土)

14:00~15:00

「医薬品がはたらく仕組み」

化学生命工学部 准教授 住吉 孝明

15:10~16:10

「長周期巨大地震に強い建物と弱い建物」

環境都市工学部 准教授 池永 昌容

11月14日(土)

14:00~15:00

「知能としてのネットワーク」

環境都市工学部 教授 滝沢 泰久

15:10~16:10

「有機化学の切り拓く未来～身近な有機分子から最新の分子機械まで～」

化学生命工学部 教授 梅田 望

11月21日(土)

14:00~16:10

※実験により終了時間が前後する可能性があります。

以下①～④の実験テーマのうち、
いずれか1つ体験していただけます。
申込み時、希望テーマをお選びください。

①「橋梁の疲労耐久性検証実験」

環境都市工学部 教授 坂野 昌弘

橋は社会を支えるインフラの要です。40～50年で潰れたのでは話になりません。西日本では本学でしか見られない実物の橋梁部材や実物大の試験体を使い、100年以上の耐久性を検証する疲労実験を見学してもらいます。

②「環境技術に活用されるナノ粒子材料」

環境都市工学部 准教授 木下 卓也

廃水中に含まれる有害物質の除去や有用資源の回収などの環境保全技術に活用される磁性ナノ粒子の合成を体験します。

③「プラズマを用いたダイヤモンド状炭素膜の作製」

化学生命工学部 教授 西本 明生

最近、チタン製腕時計の外装やペットボトルの内壁にコーティングされているダイヤモンド状炭(DLC)の薄膜を作製します。

④「食品に含まれる色素を分離してみよう」

化学生命工学部 准教授 細見 亮太

本実験では、野菜の色素を取り出し、薄層クロマトグラフィーを用いて色素の分離を行います。そして野菜の色は多種類の色素からできていることを目で見て実感してもらいます。

申込み方法・注意点 申込み締切: 10月21日(水)

- 参加ご希望の方は、関西大学高大連携センターHP(www.kansai-u.ac.jp/koudai/)セミナー「関大の研究を体験する」のページにある申込みフォームに必要事項を入力の上、送信してください。
- ※ 受講希望の実験テーマは、必ず第3希望まで選択してください。
- お申込み人数が定員(32名)を超えた場合は、抽選とさせていただきます。あらかじめご了承ください。
- 申込み締め切り後、申込者全員に受講可否の通知を送付いたします。実施日の3日前までに通知が届かない場合は、高大連携センター(TEL: 06-6368-1184)までお問い合わせください。
- 本セミナーは新型コロナウイルス感染症防止策を講じて実施します。詳細は受講証にてご案内しますので、ご協力をお願いいたします。
- 新型コロナウイルス感染症の状況によっては、セミナーを中止又は延期する可能性があります。
- お申込みの個人情報は、本セミナーに関するごとのみに使用します。

